

2017年7月10日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

【開催報告】

世界最大の国際木工林業機械の専門展示会

「LIGNA 2017」 2017年5月24日～28日／独・ハノーバー

LIGNA

～木材産業におけるインダストリー4.0がメインテーマ、テーマ別新レイアウトも好評～

2年に1度、奇数年に開催される世界最大の国際木工林業機械専門展示会「LIGNA 2017」（リグナ）は、2017年5月22日（月）～26日（金）までの5日間、ドイツ・ハノーバーで開催され、約40カ国・地域から木工林業機械、設備、工具を扱う企業約1,500社の出展がありました。

今回はテーマ別展示レイアウトという会場構成の大幅なリニューアル、インダストリー4.0のコンセプトをメインテーマに据えたデジタル化・統合化・自動化に重点を置いた展示とした結果、ドイツ国外からの出展者が増加し、全体の約6割を占める約900社となりました。来場者数は前開催と同水準の約9万3千人でしたが、ドイツ国外からの来場者が全体の約45%、約4万2千人に上りました。この結果から「LIGNA」が、木材加工や木工における分野の最新情報をまとめて把握することのできる唯一の展示会として、世界中から大きな関心を集めていることが見て取れます。

【開催速報】

名 称：「LIGNA 2017」（リグナ）
会 期：2017年5月22日（月）～26日（金）
会 場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場
展示面積：約129,000㎡（前回：約121,195㎡）
出展企業数：約40カ国・地域から約1,500社
（前回：40カ国・地域から1,522社）
日本企業数：12社（海外現地法人含む）
（前回：9社／海外現地法人含む）
来場者数：約100カ国・地域から約93,000名
（前回：約100カ国・地域から93,099名）



【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部

担当：竹生（たけお）、橋本（はしもと）、大津（おおつ）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします

<今回注目された動き>

- ・来場者・出展者双方に好評のテーマ別レイアウト、来場者の80%が「良い」と評価
- ・日系企業12社が出展
- ・インダストリー4.0の流れをくんだ、様々なソリューションの提案
- ・建具工、家具工、大工、組立工に向けた初の講習会を実施
- ・木工機械によるプラスチック、複合パネル、断熱材、建材の加工も可能に
- ・初の屋外会場の設置他、第一次産業の来場者に向けた様々なイベントを開催

■来場者・出展者双方に好評のテーマ別レイアウト、来場者の80%が「良い」と評価

「LIGNA 2017」は、木材産業におけるインダストリー4.0をメインテーマに据え、デジタル化、設備の統合、自動化に重点を置いた製品が多数展示されました。出展者は、設備統合の提案から熟練を要する作業向けの基本システムに至るまで、様々な規模の作業に対応できる製品・技術を紹介しました。また、展示対象分野間の技術融合が進んでいるため、今回のレイアウトは来場者にとって分かりやすいテーマ別展示に再編されました。来場者の約80%が、この新しいレイアウトを良いと評価し、会場の見やすさを実感した模様です。また、出展者からもレイアウト変更の結果、大型機・小型機をまとめて展示できるようになり新しい顧客層に訴求できるようになった、自社ブースへの新規顧客来訪に繋がった等、好評価を受けました。

【「LIGNA 2017」の新しい展示レイアウト】

- ◇ 木質パネル製造 (Wood Based Panel Production)
- ◇ 製材技術 (Sawmill Technology)
- ◇ 木材によるエネルギー創出 (Energy from Wood)
- ◇ 林業技術 (Forestry Technology)
- ◇ 表面加工技術 (Surface Technology)
- ◇ 受注/大量生産用機器・機械
(Tools and Machinery for Custom and Mass Production)
- ◇ 機械部品・自動化技術
(Machine Components and Automation Technology)



■日本からは12社が出展

日系企業の出展は12社でした（現地法人含む）。

<出展企業一覧>（法人格略・五十音順）

兼房、キクカワエンタープライズ、太平製作所、THK、天龍製鋸、名古屋大学農学部、日本木工機械工業会、橋本電機工業、丸仲鉄工所、名南製作所、安川電機、山本ビニター

■インダストリー4.0の流れをくんだ、様々なソリューションの提案

今回のLIGNAでは、設備全体を統合する新しいソフトウェアが数多く展示されました。その中でも特に、作業工程と手順を可視化する技術に来場者からの関心が集まりました。機械を監視するアプリケーション、デジタル表示のこぎりガイド、さらに、ホイールローダー用バケットカメラシステム、工具と機械のデジタルツインズを使用した試運転とライフサイクルの可視化技術等、様々なソリューションが紹介され、新技術が木材産業にも適用されることが示されました。



その他のトレンドとして、作業負担の軽減を実現する生産の効率化も注目を集めており、「3回クリック」だけで家具を生産できる工程の実例を紹介した出展者も登場しました。また、機械コンポーネントと自動化のゾーンでは、ロボットが活躍の場を拓けていました。

■建具工、家具工、大工、可搬物組立工に向けた初の講習会を実施

Sprint Academyの協力のもと、建具工、家具工、大工、組立工に向けた初の講習会が開催されました。熟練を要する作業における新しい技術の活用例、新規商業材の特徴、最新の接着剤の機能等、実践的な内容の講習に加え、参加者が木工機械を実際に操作して技術を習得することもできる場となりました。

■木工機械によるプラスチック、複合パネル、断熱材、建材の加工も可能に

Robotation Academyによるプラスチックと複合材料の加工に関するプレゼンテーションが開催されました。また、木材のみならず、プラスチック、合板パネル、断熱材、建材も加工できる木工機械も多く展示され、このような機械が移動住宅の製造や造船、自動車、船舶、航空機の内装等、汎用的に利用可能であることを紹介しました。

■初の屋外会場の設置他、第一次産業の来場者に向けた様々なイベントを開催

製品やエネルギー創出の原料となる木材の生産が第一次産業の来場者の関心を集めました。その他、林業にドローン・無人航空機(UAV)を活用する最新技術や最新の森林調査方法にも注目が集まりました。

また、今回初めて屋外展示場が設置され、約1,500㎡の会場にて連日、枝打ち、間伐、木材の移動・運送等、林業の各工程に必要な技術のプレゼンテーションが行われました。



今年2回目を数える「木材産業サミット」も開催され、カナダ、コロンビア、チリ、ブルガリア、ルーマニアなど13カ国・15の代表団が、業界の専門家と意見交換しました。メインテーマ「資源と技術へのアクセス」のもと、参加者は「林業・木材産業4.0」、「林道」、「森林火災の防災」、「車両管理」等の最新動向と開発について議論を交わしました。

<次回開催の「LIGNA 2019」について>

次回の「LIGNA 2019」は、下記の通り開催します。

会 期：2019年5月27日（月）～31日（金）

会 場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

ドイツメッセ公式撮影写真の掲載をご希望の方は、下記リンクよりダウンロードいただけます。

★LIGNAイメージデータベース

<http://www.ligna.de/en/register-plan/for-journalists/image-database/>